

アンケートには、こんな声がありました。オンブズマンが答えます！



どのような相談が多いですか？ どのように解決してくれますか？

いじめや友達との人間関係、家庭内のこと、学校の先生との関係などが多いです。自分自身の悩みについてもあります。お話を聞くうえで心がけているのは、相談者の気持ちをよく聞いて一緒に考えることです。解決も、一緒に話し合い一番よい方法を考えていきます。もしかしたら、すぐ解決しないこともあるかもしれませんが、でも、話すだけでも考えがまとまったり、良いアイデアが浮かんだりするので、相談してみる価値はありますよ。



相談したことが学校や家族にばれないようにしたい。

子どもオンブズマンは、子どもの気持ちを一番大切にします。だから、相談者に無断で家の人や学校の先生に話しません。秘密は守ります。



子ども相談員からメッセージ

あけましておめでとうございます。

昨年は新型コロナウイルスの影響で登校できない時期があるなど、不自由な生活を強いられましたね。そんな中でも子どもオンブズマンは、みなさんからたくさんの相談を受けることができました。

新年が始まってすぐ緊急事態宣言が発出されました。つらいことや困ったこと以外にも、背中を押して応援してほしいことや、これは相談じゃないけどと思うことでも、話すとスッキリしたり違った角度から考えることができます。子どもオンブズマンは、どんなことでも、話すだけでもいいんです。みなさんのお話を聞かせてください。

LINEで相談できる所があるって知ってる？！



相談ほっとLINE@東京

「反だち関係やいじめ、進路など、様々な不安や悩みを抱えたときは・・・」

「ネット・スマホで困ったら・・・」「生きるのがつらいと感じたら・・・」

学校や家族のこと、友達との関係、いじめ、心と体、進路など、どんな心配や悩みでも、気軽に相談してください。

相談時間 午前9時から午後11時まで（受付は午後10時30分まで）



ひみつは
まもります
電話代は
タダです

フリーダイヤル



0120-70-7830

受付時間

月～金 午前8時30分～午後5時（祝日のぞく）

✉ sec_ombudsman@city.kunitachi.lg.jp



ホームページ
相談フォーム
QRコード



直接くる時

国立市役所

北庁舎27番窓口

予約なしでの直接来所もOK！

くにたち子どもの人権オンブズマン機関紙

第23号 2021年1月

発行：国立市オンブズマン事務局

きみの人権を守る

子どもオンブズマン 通信

オンブズマンこらむ

「オンブズマンてどんなひと？」

小中学校の児童、生徒のみんな、アンケートに協力してくれてありがとう

ございました！アンケートを読ませてもらって、あらためてオンブズマンが

どんな人かをみんなに伝えたいと思い、今回のコラムのテーマにしました。

いま国立市でオンブズマンをしている人は二人ですが、どちらも弁護士です。

また、どちらも、ふだん、子どもの権利を守る活動をしています。具体的には、いじめや学校での問題、児童虐待、少年非行の問題などに関わっています。

なぜ法律の専門家である弁護士が子どもを守る活動をしているかということ、子どもには法で守られた権利があるのに、それがときに傷つけられてしまっていることがあるからです。

自分の子ども時代を振り返ると、学校でいじめを受けた経験がありますし、消極的な性格だったのもあって、友達付き合いや学校の先生との関係づくりもずっと苦手意識がありました。まわりから「言いたいこと、やりたいことをしていい」と言われても、自分がどんな人間なのか、何をしたいかもよく分からず、悩んだりしていました。特に十代のころは何か失敗すると「自分はだめだ」と自分を責めてばかりだった気がします。

もちろん、ひとそれぞれ、つらさ、苦しさは違いますし、その人にしか分からない部分もあります。でも、自分なりの経験から、子ども時代を生きているみんなに何かできることはあるんじゃないかと思って、オンブズマンをしています。

アンケートの中で、オンブズマンが何をしてくれるか分からないという回答をもらいました。もしも、つらい気持ち、苦しい気持ちがあるときには、まずオンブズマンに連絡をください。直接、事務局に来てくれてもいいし、電話、メール、オンブズマンレター（無料の用紙を使ったお手紙）でもだいじょうぶです。

そして、そのときには「ちゃんと話さなくちゃ・・・」と思わなくても全然だいじょうぶです。ゆっくり、きちんとお話を聞きますし、何がポイントなのかを一緒に考えていきます。

そうやってお話を聞いて、相談者の思いが分かってくたら、今度はこれからどうしたらよいかを考えてみます。もし必要であれば、オンブズマンと一緒に話をしにいくことや、オンブズマンだけで、相談者の代わりに話をしにいくこともできます。

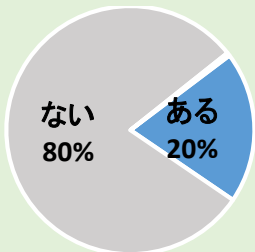
このように、相談者である子どもの気持ちを、関わっている大人たちに伝えていって、少しでも安心して暮らせるように働きかけていくのが、オンブズマンの活動です。

子どもオンブズマンは、みんなのそれぞれの気持ちや思い、言葉を大切にしています。つらい気持ち、苦しい気持ち、嫌な気持ちになったら、ぜひオンブズマンに伝えてみてください。

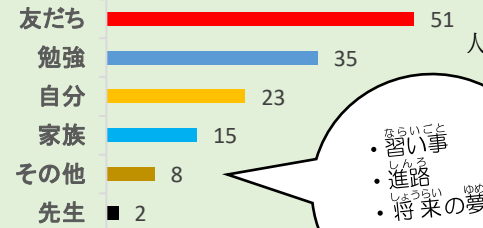


成瀬 オンブズマン

質問1. あなたは、今、悩んだり困ったりしていることはありますか？



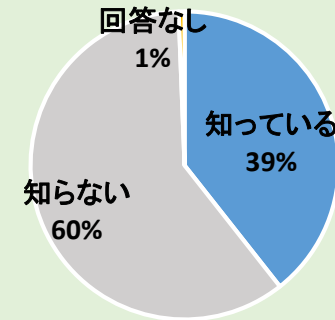
(あるを選んだ人) 何について悩んでいますか？



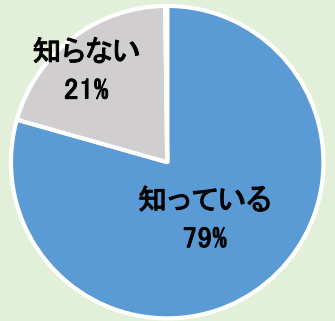
・習い事
・進路
・将来の夢、
…etc

昨年と同じで、友だちや勉強のことで悩んでいる人が多かったです。

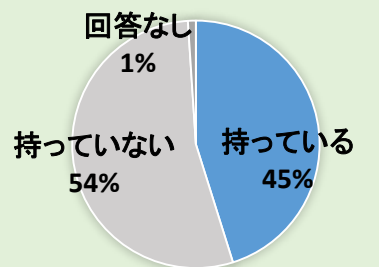
質問2. 子どもたちには、『児童の権利に関する条約(子どもの権利条約)』があって、『生きる権利』『育つ権利』『守られる権利』『参加する権利』が保障されていることを知っていますか？



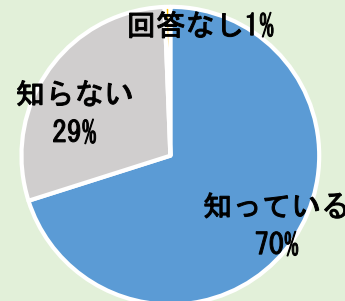
質問3. くにたち子どもの人権オンズマン(子どもオンズマン)を知っていますか？



質問6. 子どもオンズマンがみなさんに配っているカードを持っていますか？



質問4. 子どもオンズマンは、子どもの人権を守るため、あなたの話を聞いて一緒に考えたり、あなたの意見を家族や先生に伝えたり、解決に向けて一緒に頑張ることを知っていますか？



ひみつ
まも
守ります！



子どもオンズマンアンケート

ご協力ありがとうございました！

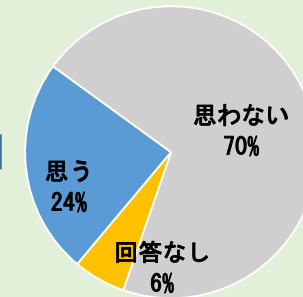
国立市の公立小学校8校の5年生にアンケートに答えてもらい、485人から回答がありました。

今年は、新型コロナウイルス感染対策のため、いろいろな制約が多い一年でした。相談しやすい雰囲気を作ってほしいという多くの意見から、オンズマンがみんなの学校に行き一緒に話す機会を持ちたいと思いましたが、それもかきませんでした。

そこで昨年7月に配布した『オンズマンレター』は新しい相談ツールとしてみんなに利用してもらっています。3人に1人は知ってくれているので嬉しいですね。相談したいことがある方は、ぜひ利用してください。

『相談するほどの悩みだと思わないから』と思っている方がとても多いです。くにたち子どもの人権オンズマンは、どんな相談でも受け付けています。「これって、人権についての相談かな?」なんて思わずに、なんでも相談していいんです。ただ、話を聞いてほしいだけでもいいんです。子どもオンズマンはみんなの声を聞き、みんなと一緒に考えたいと思っています。

質問5. もし悩みがあるときは、子どもオンズマンに相談してみようと思いますか？



(思わないを選んだ人)その理由は何ですか？

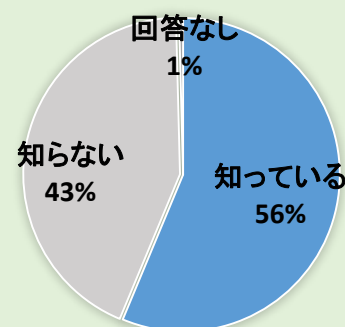
相談する人がいるから	178人
相談するほどの悩みだと思わないから	134人
知らない人だから	95人
自分で解決できる、自分で解決したいから	94人
話しづらい、恥ずかしい、怖いから	93人
その他	58人
相談方法や相談受付時間が合わないから	16人

・ほかの人にめいわくがかかる
・やっぱはずかしい
・悪用されるかも
・お母さんにばれたくない

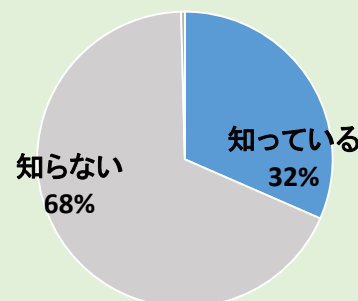
(思うを選んだ人)その理由は？

相談しやすいから	62人
秘密を守ってくれるから	53人
解決してくれそうだから	52人
身近な人には相談しづらいから	31人
誰かに話したいと思うから	24人
その他	13人

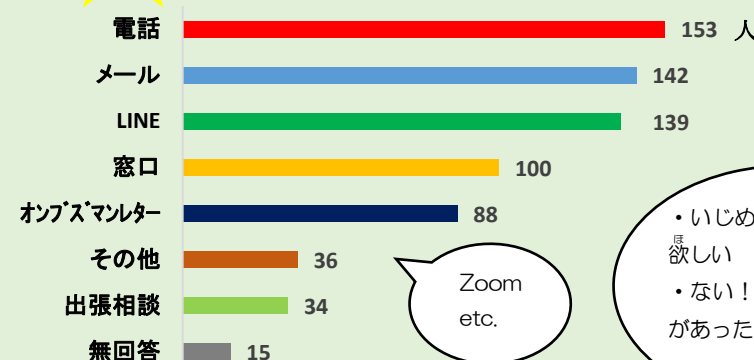
質問7. 子どもオンズマンはフリーダイヤル(無料)で相談ができることを知っていますか？



質問8. 手紙で相談できるオンズマンレター(無料)を知っていますか？



質問9. 子どもオンズマンに相談するには、どんな方法だったら相談しやすいですか？



Zoom
etc.

・いじめについて教えて欲しい
・ない!でも困ったことがあったら話したい
…etc.

質問10. 子どもオンズマンにしてほしいことは何ですか？

困ったときには相談したい	190人
相談しやすい雰囲気を作ってほしい	187人
相談しやすい方法を増やしてほしい	139人
子ども専用の相談場所を作ってほしい	81人
子どもの人権について教えてほしい	70人
その他	60人
学校や児童館などに出張相談に来てほしい	54人
相談できる時間を長くしてほしい	23人